2025年5月28日

各　位

上場会社名　三晃金属工業株式会社
代　表　者　代表取締役社長　青木　栄一
（コード番号：1972　東証スタンダード市場）
問合せ先責任者　執行役員経理部長　宮崎　智裕
（ＴＥＬ：03－5446－5601）

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、会社の持続的成長と中長期的な企業価値向上を図るべく、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について、現状を分析・評価し、改善に向けた取り組み方針について決議いたしましたのでお知らせいたします。

詳細につきましては、添付資料をご覧ください。

以　上

空と人のあいだに
三晃金属工業株式会社

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

三晃金属工業株式会社
証券コード：1972

2025年5月28日

© 2025 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応概要

空と人のあいだに
三晃金属工業株式会社
Sanko

1. 現状分析

- 資本収益性
- ROEのブレークダウン
- 市場評価

2. PBR向上に向けての対応方針

- ROEの維持向上、PER向上

3. 具体的な対応策

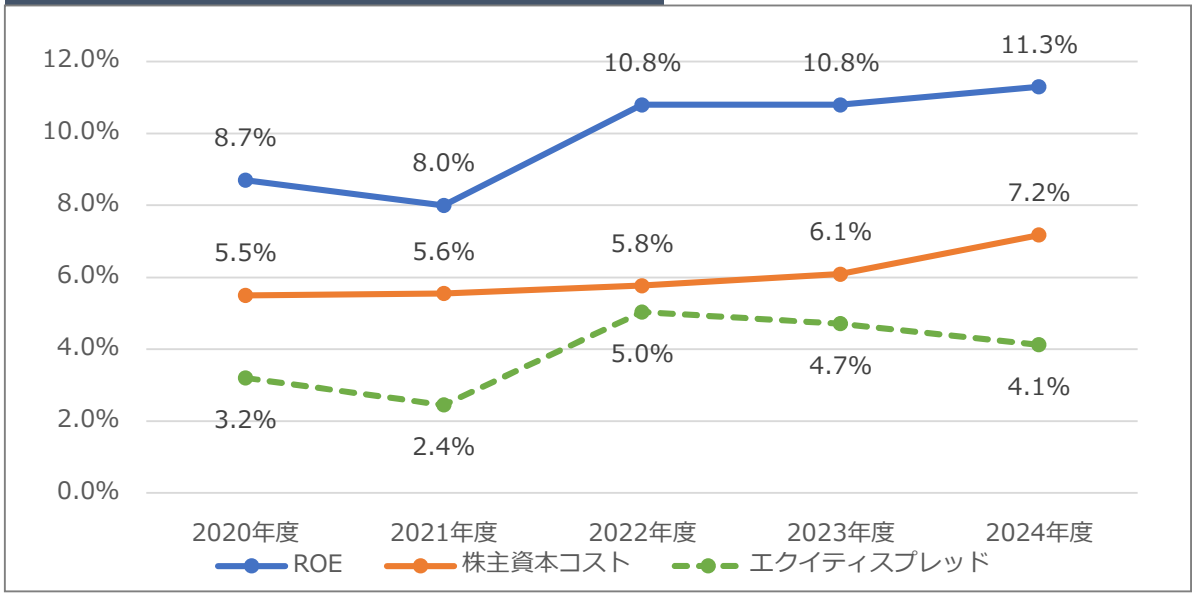
- ROEの維持向上施策
- PERの向上施策

© 2025 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

1. 現状分析(資本収益性/株主資本コスト･ROE)

■ ROEは平均10%の水準で推移しており、当社の想定する株主資本コストを上回る水準
2024年度のエクイティスプレッドは4.1%

株主資本コスト／ROE



資本コストの考え方（CAPMモデル）

■ 当社は借入がないため資本コスト≒株主資本コストとなり、7.2%と推定

リスクフリーレート		β	×	リスクプレミアム	=	株主資本コスト
1.1%		0.83		7.36%		7.2%
10年国債利回りをベースに設定		Barra社の提供するPredicted β		Ibbotson社のマーケットリスクプレミアム		（当社推定）

資本コスト、資本効率について

■ 当社は有利子負債が僅少のため、資本コスト(WACC)は株主資本コストと近似値となる

■ また収益の太宗が屋根事業であることから、ROICを指標として用いるよりROEを資本効率の指標とするのが妥当と判断

© 2025 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

1. 現状分析(ROEのブレークダウン)

空と人のあいだに
三晃金属工業株式会社
Sanko

■ 全業種中央値、建設業中央値との比較でも良好な数値を示している

ROEのブレークダウン

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	全業種中央値	建設業中央値
ROE	8.7%	8.0%	10.8%	10.8%	11.3%	7.3%	6.5%
売上高純利益率	5.2%	4.7%	6.0%	6.0%	6.5%	4.0%	3.5%
総資産回転率	1.0倍	1.1倍	1.1倍	1.1倍	1.1倍	0.9倍	1.0倍
財務レバレッジ	1.6倍	1.6倍	1.6倍	1.6倍	1.6倍	1.8倍	1.8倍

※2023年度

$$\text{売上高純利益率}\left(\frac{\text{純利益}}{\text{売上高}}\right) \times \text{総資産回転率}\left(\frac{\text{売上高}}{\text{総資産}}\right) \times \text{財務レバレッジ}\left(\frac{\text{総資産}}{\text{自己資本}}\right) = \text{ROE}$$

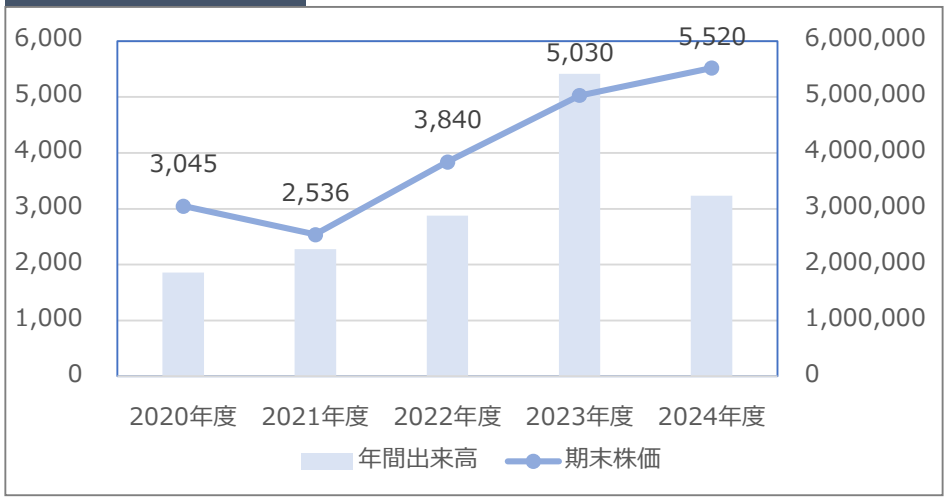
© 2025 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

1. 現状分析(市場評価)

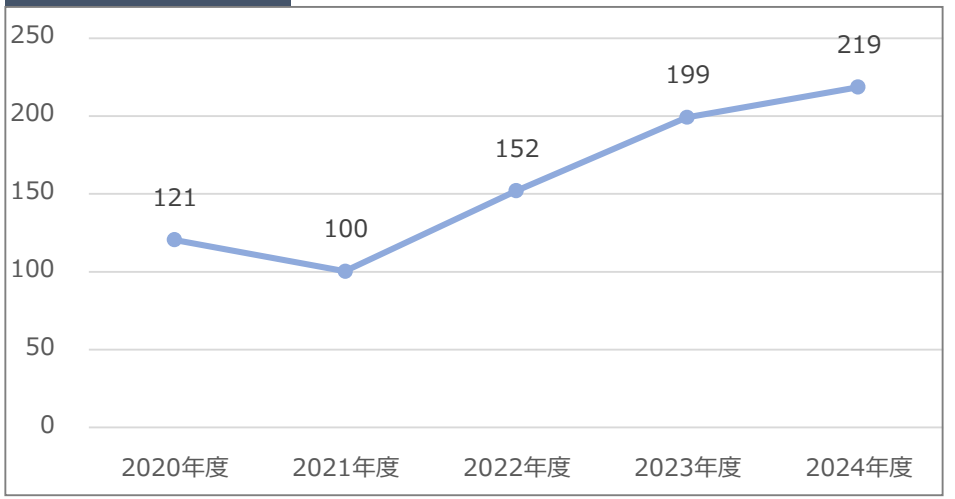
空と人のあいだに
三晃金属工業株式会社

■ 株価・時価総額は2020年度末比で上昇
日経平均、TOPIXの上昇を上回る

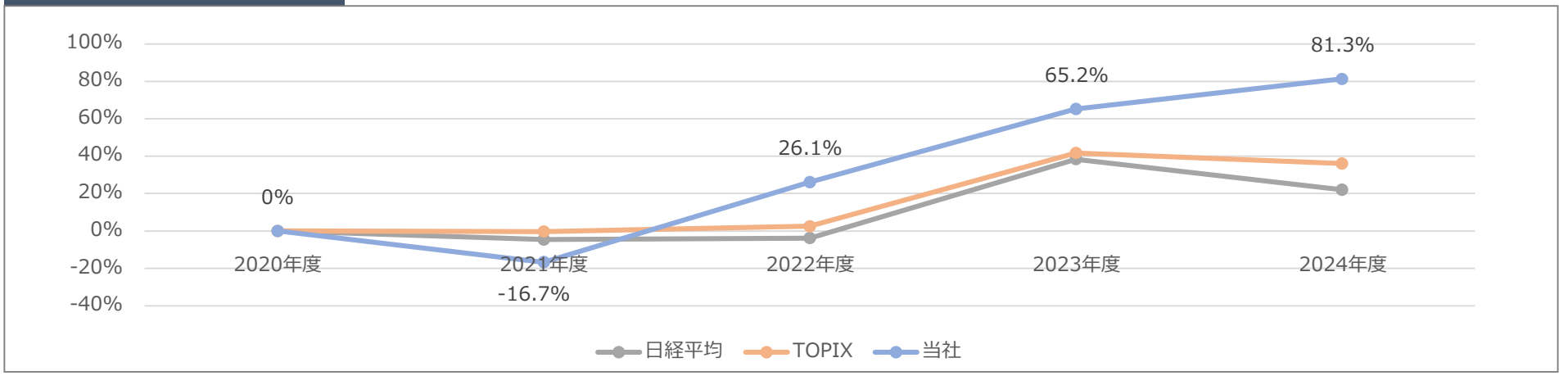
株価(円) 出来高



時価総額(億円)



株価(日経平均、TOPIX比較)



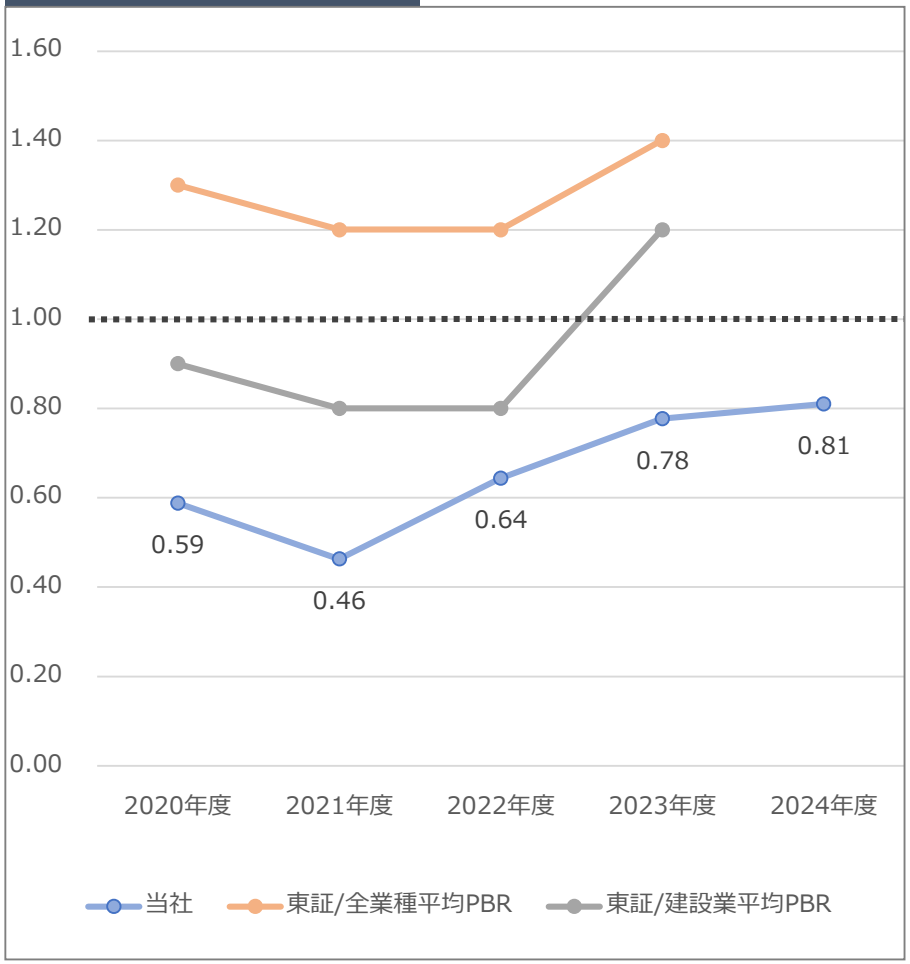
© 2025 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

1. 現状分析(市場評価)

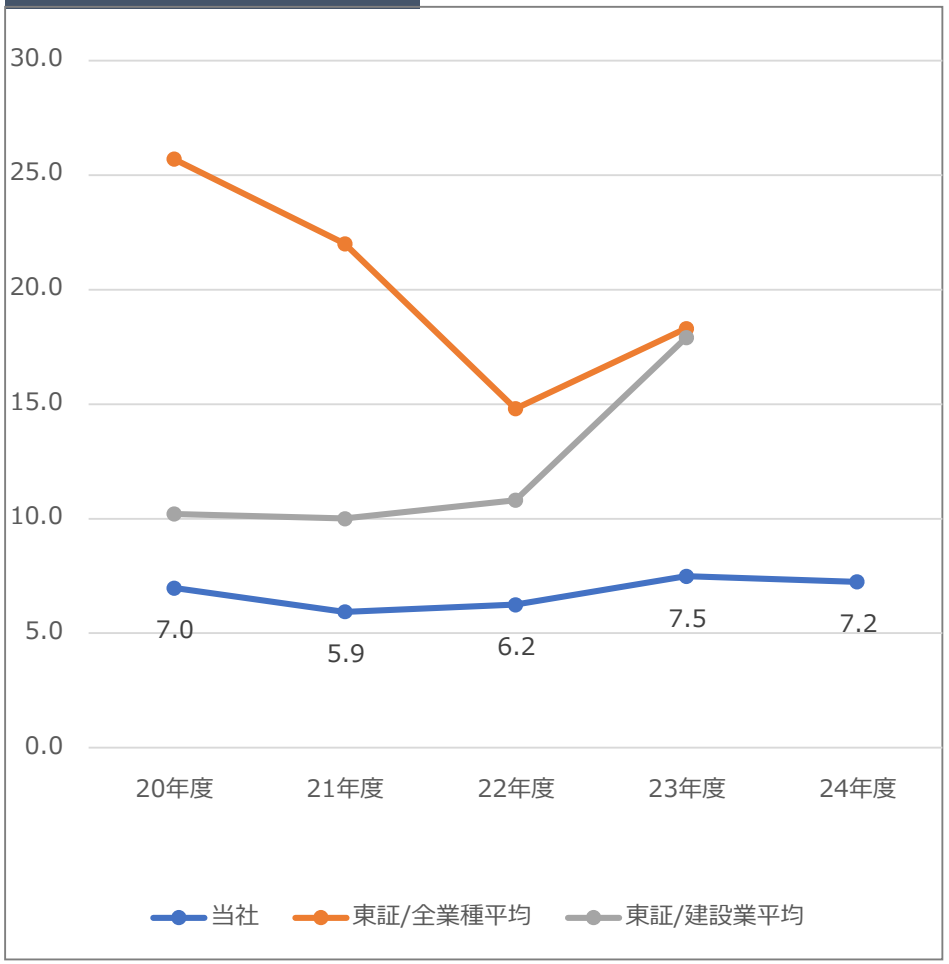
■ PBRは上昇基調も目安の1倍未満／PERは低位で推移しており、
当社の市場評価をさらに高める必要がある
ROEは株主資本コストを上回っているため、PBR1倍超達成に向けては、PER向上が課題と認識

PBR＝ROE×PER

PBR：株価純資産倍率(倍)



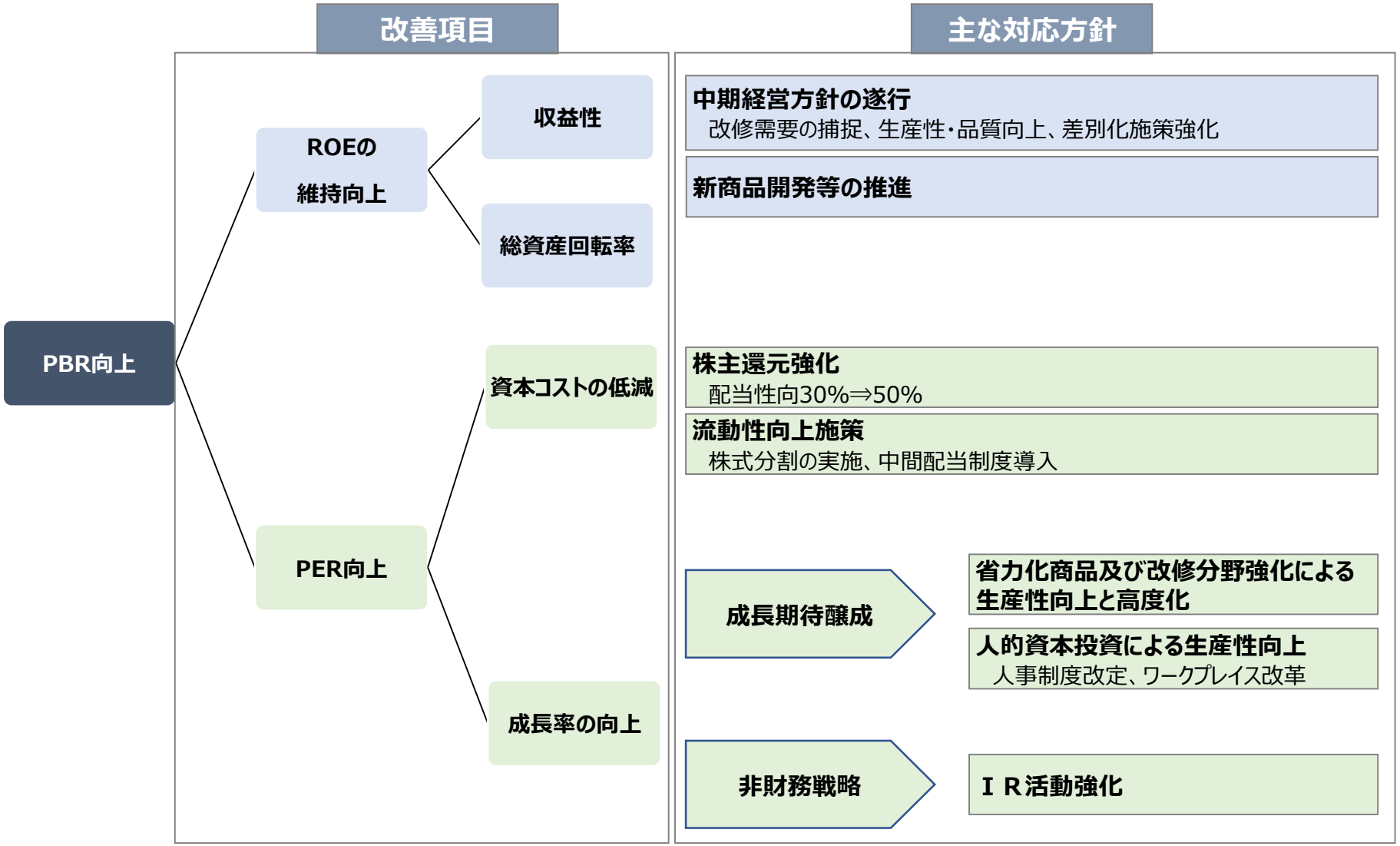
PER：株価収益率(倍)



© 2025 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

2.PBR向上に向けての対応方針

■ PBR向上のためには、ROEの維持向上、PERの向上を図る必要がある。



© 2025 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

3. 具体的な対応策：ROEの向上（中期経営方針の遂行）

■ 「業界最高レベルの商品力・営業力・工事力」で好循環を創出し、圧倒的な総合力で業界をリードする

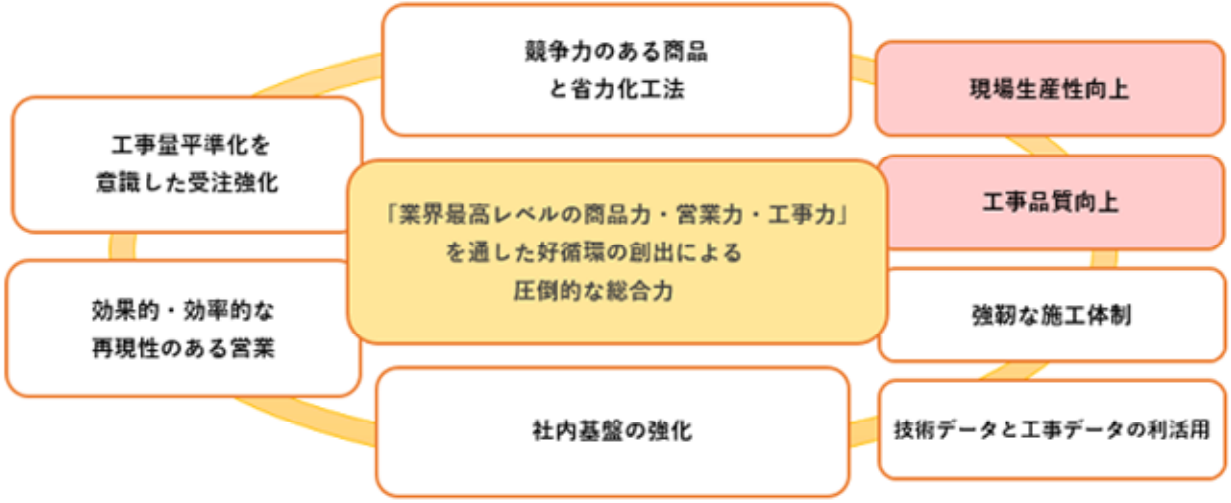
外部環境変化と当社への影響

1）新築需要の減少リスク
2）2024年問題による工期の遅延（≒売上高減少）リスク
3）建設コスト上昇傾向の継続

☞ 新築の価格競争再燃、改修需要補足の重要性アップ
☞ 6日の作業を5日で完了させる現場生産性向上策の実行
☞ 適切な価格転嫁を推進するための差別化施策の強化

当社の課題認識と3年間で取り組む主要施策

当社に求められる機能を“業界最高レベル”で果たすためには、改善・高度化できる課題がある。
その中でも特に“好循環”のカギになる「現場生産性向上と工事品質向上」を最重点施策として取り組む。



© 2025 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

3. 具体的な対応策：ROEの向上（新商品開発等の推進）

空と人のあいだに
三晃金属工業株式会社

■ 新商品開発等を強力に推進

公開日	内容
2024.02.29	無溶接タイトフレーム「ガッチリタイト®」が国土交通省の新技術情報提供システム（NETIS）に登録
2024.03.15	「三晃クラフトアカデミー」立ち上げ
2024.06.04	高断熱・高遮音・高吸音の金属屋根「音断（おとだん）ルーフシリーズ」 屋根30分耐火構造認定取得のお知らせ
2024.08.01	穴をあけない新型吊折版「スマートクリップ」の販売開始
2024.08.07	折版ジョイント工法「フラットジョイント」販売開始
2025.02.13	新型折版「サンコールーフロック130」販売開始
2025.02.28	三晃金属工業と日鉄物産、改修工事の課題解決に向けた取り組みを強化
2025.03.11	シート防水屋根に太陽光パネルを取り付ける新工法第一号物件完成
2025.05.19	スレート屋根の豪雨対策「サンコーハイスイUP工法」の販売開始について

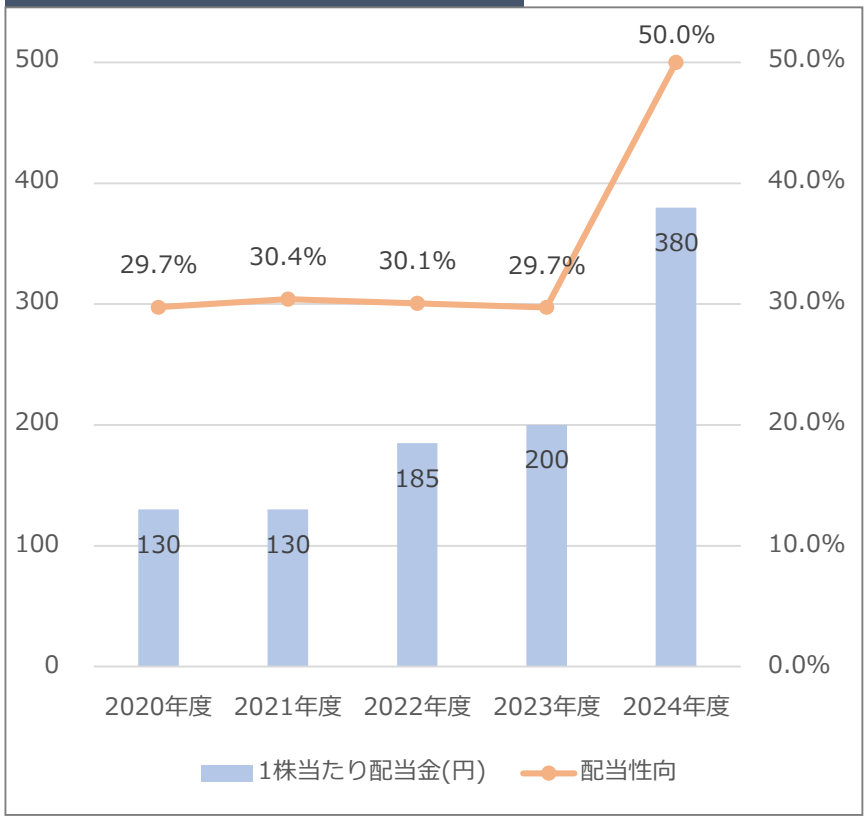
© 2025 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

3. 具体的な対応策：PERの向上施策(資本コストの低減/株主還元強化)

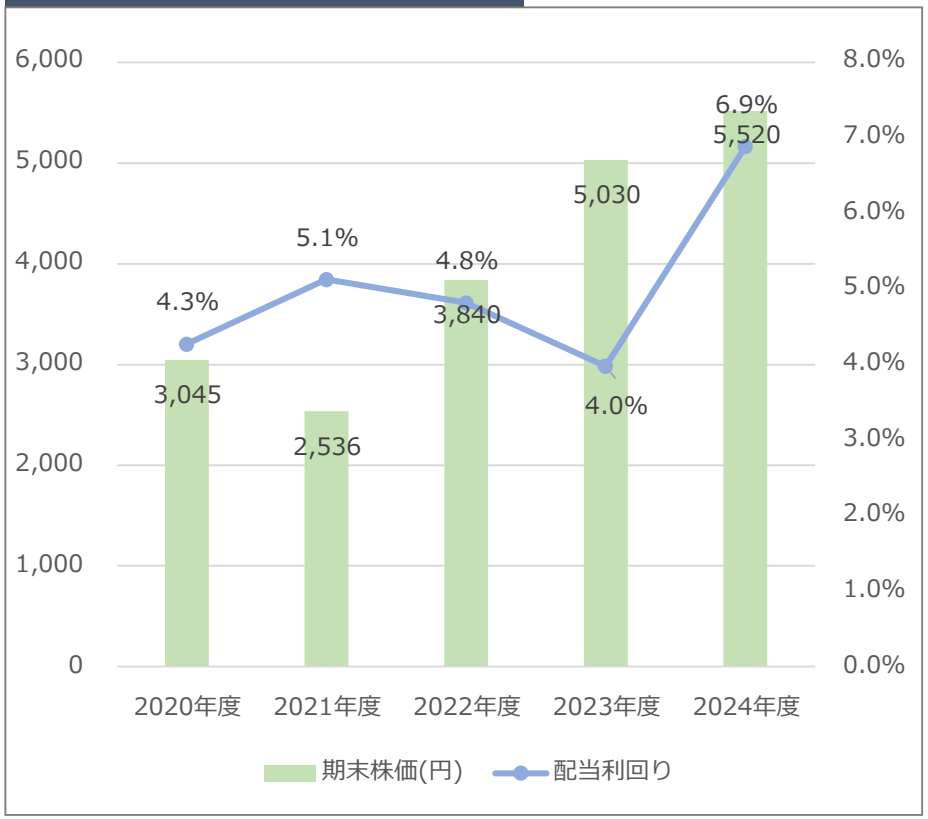
空と人のあいだに
三晃金属工業株式会社

■ 株主還元を強化し配当性向30%⇒50%、2024年度は大幅増配
配当利回りは6.9%

1株当たり配当金と配当性向



期末株価と配当利回り



© 2025 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

3. 具体的な対応策：PERの向上(資本コストの低減/流動性向上施策)

空と人のあいだに
三晃金属工業株式会社

■ 流動性向上施策として以下の取り組みを実施

株式分割の実施

投資家層の拡大と株式の流動性向上を目的に株式分割を実施
（１）分割の方法　　当社普通株式1株につき5株の割合
（２）基準日　　2025年9月30日
（３）効力発生日　　2025年10月1日
※詳細は、本日開示の適時開示資料を参照下さい。

中間配当制度の導入

株主の皆様への利益還元の機会を充実させるため、これまでの年1回の期末配当の実施に加え、中間配当制度を導入
（１）中間配当の基準日　　毎年9月30日
（２）導入年度　　2025年度
（３）2025年6月27日開催予定の当社第76期定時株主総会において承認可決されることを条件といたします
※詳細は、本日開示の適時開示資料を参照下さい。

© 2025 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

3. 具体的な対応策：PERの向上(成長率の向上/成長期待醸成)

空と人のあいだに
三晃金属工業株式会社
Sanko

■ 省力化商品及び改修分野強化による生産性向上と高度化

省力化商品

スマートクリップ®

・専用に開発した金具（クリップ金具）に屋根材を嵌め込むだけで仮固定を完了させ、下部から同じく新開発の金具（X(エックス)金具）を締め込む事で金具が突っ張り固定する、穴をあけない全く新しい吊り折版工法
・さらに、屋根材同士を強固に嵌め合わせることが可能となったことにより、従来の吊り工法で必要であった中間緊結ボルトでの固定も不要になる画期的な施工省力工法
・屋根材に穴をあけないことで、従来工法と比較し施工スピードは２倍以上早くなり*、経年劣化による穴からの漏水リスクを低減

サンコールーフロック®130

・タイトフレーム（折版を鉄骨梁に接合するための金具）を溶接した後は、専用工具を一切使用せず屋根材を踏み込むだけで屋根葺きが完了
・また、屋根材同士が強固に嵌合(かんごう)するため、従来工法（ルーフデッキ等）で必要であった剣先ボルト部の打ち抜き、三点セット（ナット・特座・パッキン）や中間緊結ボルトによる締め付けが不要
・これらにより従来工法（ルーフデッキ）と比較し、屋根葺きの工程を約 60%削減*

*当社にて施工検証した記録による。

フラットジョイント®

・折版の重ね部を弊社深谷製作所(埼玉県深谷市)で精度高くプレス加工し、専用の防水材を貼付けた屋根材（最大 10ｍ）で、重ね部に段差がない「フラットな意匠」、重ね部をビス固定しないことで「漏水リスクを大幅に低減」させ、現場成型が困難な現場や急勾配屋根での「省力・省人施工」が可能

改修分野強化

サンコーハイスイUP工法

・工場や倉庫のスレート屋根を金属屋根でカバー改修する際に、台風・豪雨時の漏水対策として雨水排水能力を大幅に向上させる新工法
・スレート屋根を金属屋根でカバーする「サンコースライダー25」と同時に施工することで、排水能力を大幅に向上させ、漏水でお困りのお客様の課題を解決

© 2025 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

3. 具体的な対応策：PERの向上(成長率の向上/成長期待醸成)

■ 以下の人的資本投資を実行し、生産性向上を図る

人的資本投資による生産性向上

人事関連制度改定等

内容	改定時期
勤務地域を限定した「エリア総合職」コースの新設	
高度な専門的業務を遂行する「専門職位」の新設	
育児・介護に使用可能な福祉休暇制度（有給）の導入	2025年4月
服装のオフィスカジュアル化	
フレックスタイム制の導入	
本社・東京オフィス移転	2026年（予定）

給与水準の改定および初任給の引き上げ

月例給与を底上げするベースアップを月額1万5千円（定期昇給と合わせた賃上げ率は組合員平均で7.7%）実施するとともに、より安定して社員が能力を発揮し、生産性高く活躍できるよう、年収に占める月例給与の割合を60%から67%に高める制度改定を実施いたします。
これにより大学卒初任給については、26万円から4万円増額の30万円となります。

© 2025 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

3. 具体的な対応策：PERの向上(成長率の向上/非財務戦略)

空と人のあいだに
三晃金属工業株式会社

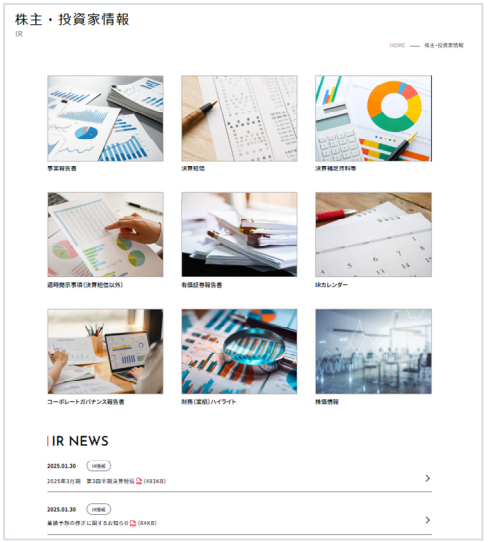
■ 資本市場の評価を高めるには、収益性よりも市場理解のためのＩＲ活動が不足していると認識し、ＩＲ活動強化に注力

ＩＲ活動強化

ＩＲ活動の基盤整備

2024年12月16日にＩＲサイト含むコーポレートサイトをリニューアル済み
- 株主/投資家向け開示を拡充
- 改修後、コーポレートサイトからのＩＲ関連問い合わせ増加

コーポレートサイト　https://www.sankometal.co.jp/ir/



市場との対話推進

開示量の増加	半期末、期末の決算補足資料の開示	2021年度より
	ログミーFinanceによる決算説明書き起こし	2023年度より
投資家との対話拡充	機関投資家との面談推進	
	YouTubeチャンネル「ディスカ場」公開予定	2025年度

© 2025 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.